



新規事業の成功、広報の体制作り、粘り強くお手伝いします！

## オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第32号

### 「陸王」に連動して新規事業のコラムを書いています！

地球に加速装置が付いているのかと想像してしまうくらい、時間の経過がはやいですね(笑)。晩秋から初冬へ変わっていく最中なので、身体のコンディション作りが難しいと思いますが、皆さんお元気でしょうか？

**10月15日(日)から「陸王」というドラマが始まりました。**原作者は「半沢直樹」や「ルーズヴェルト・ゲーム」、そしてあの「下町ロケット」の池井戸潤氏です。過去のドラマは話題になり、面白い作品でしたので、今回の「陸王」も大いに期待しています。

さて、**この「陸王」ですが、テーマは「新規事業」です。**足袋を作っている「こはぜ屋」は、社歴100年、社員数20名の中小企業です。取引先からの注文が減少する中、新規事業としてランニングシューズの開発に着手します。第1話と第2話が終わったところなので、この後、どのように展開していくのか。続きはドラマをみてください。参考までに番組ホームページを掲載しておきますね。

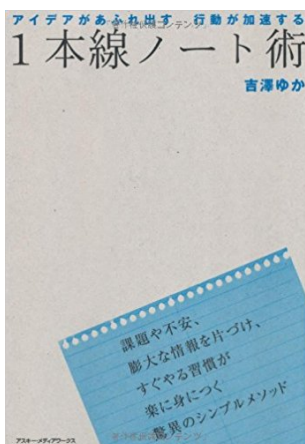
「陸王」のホームページ [http://www.tbs.co.jp/rikuou\\_tbs/](http://www.tbs.co.jp/rikuou_tbs/)

熱狂的なニュースレターのファンの方はご存知だと思います(笑)、事務所HPにて「プロジェクトサポートコラム」というページを作り、広報と新規事業のコラムを書いています。広報のコラムは5本執筆し、公開しているのですが、**そろそろ新規事業のコラムを書こうと思っていたところでした。**

**「どんなコラムを書けば読者は喜んでもらえるのか？」**あれこれ考えていたときに、「陸王」の情報を知ったのです。ピン！とききました。「陸王」に連動してコラムを書けば、新規事業の内容を分かりやすく伝えることができるかもしれない。おおっ～これは良いねえと、一人で喜んでいました(笑)。コラムは既に2本執筆して公開しました。ドラマと一緒にコラムも読んで、中小企業の新規事業を理解していただければ幸いです。

新規事業コラム <http://lproject-support.com/wp/?cat=6>

### 「1本線ノート術」を読みました！

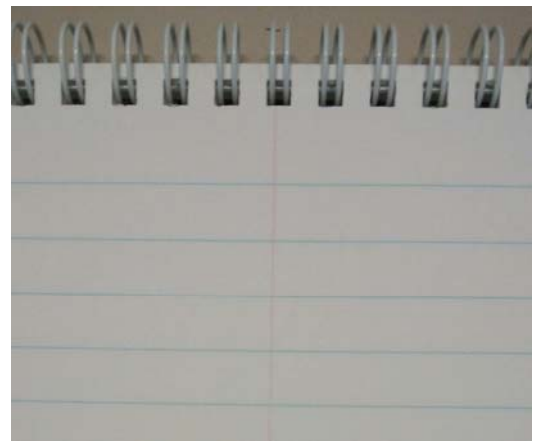
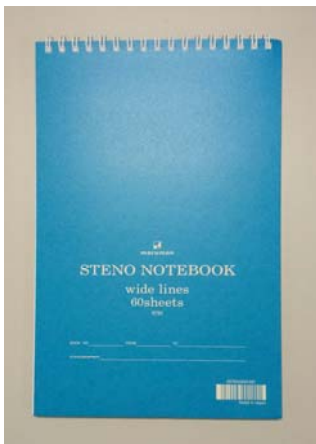


今回、ご紹介する本は、「**1本線ノート術** (アスキー・メディアワークス、¥1,512、吉澤ゆか著)」です。前は「一生モノ」というキーワードの本でしたが、今回は「1本線」というコンセプトです。どういう意味なんだろう(笑)。本書の「はじめに」には次のように書かれています。

**「この本のノート術は、これまで数多くあった『情報を整理する』ためのノート術ではありません。普段出てこなかったアイデアが引き出され、自然にそのアイデアが行動につながっていく、そんな、いうなれば、あなたの人生そのものを変えてしまう力を持っている、ノートの使い方を説明する本です。」** アイデアを行動につなげるノート術。ちょっと面白いコンセプトですね。さて、このノート術の要点は次の3つです。

1. 1本線の左側に学んだこと（インプット）をメモする
2. 右側に気づいたこと、ひらめいたこと、アクションプランを書く
3. アクションプランをいつやるか、決める

つまり、インプット→アウトプット→行動が一連の流れになっているわけです。早速、手持ちのキャンパスノートを取り出し、真ん中に線を引いて「1本線ノート術」を試してみました。1週間経過した感想ですが、このノート術は僕に合っていますね。違和感なく書くことができました。左に客観的なデータを書いて、右に気づきやひらめき、アクションプランを書いていきますので、脳の構造によく似ていると感じました。



キャンパスノートを使ったテストが終わり、本の中で紹介されている1本線の入ったノートを購入しました。マルマン製（上の写真）で、外形は、縦 238 mm・横 152 mm・厚さ 14 mmです。キャンパスノートよりもひと回り小さいサイズです。ノートの中ですが、9mm 罫・23行・60枚になっています。このノートは速記用（国会で使われているモノです）であり、左に聞き取った内容を速記文字で書いて、右に翻訳した内容を書きます。

現在、仕事からプライベートまで、このマルマンノート1冊で対応しています。今までのノートと大きく変化したことは、ノートを取り出して見返すことが増えたことです。それと見返した時、右に書き込むスペースがあることで、具体的なアイデアが湧いてきて書き込む回数が増えたというメリットもあります。

また、企業訪問して、製造現場等で立って話を聞いてメモする時にも、このノートは使いやすいと思います。裏表紙が厚紙になっているので、バインダーのような効果を発揮するからです。左にヒアリングした内容を書いて、右にアイデアや解決策を書き、これらを整理して提案書を作ることもできそうです。

ということで、これから先はこのノートをいろいろな場面で使っていきます。著者が言っている「人生そのものを変えてしまう力を持っている」ことを試してみます！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒540-0034 大阪市中央区島町2丁目2番3号 サハム天満橋 402

発行日 2017年11月1日

TEL06-6920-3191 Email: m-okumura@1project-support.com <http://www.1project-support.com>

FAX06-6920-3192 Copyright 2017 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved